

日本自動車連盟（JAF）では、信号機のない横断歩道で歩行者がいる場合に一時停止しない車が多いという実態を把握すべく、2016年から全国で実態調査を行っています。
この度その最新結果が公表されましたので、お知らせします。

2024年の調査結果では、歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場面で一時停止した車の割合は全国で53.0%でした。
前年からは7.9ポイント向上し、ようやく半数を超えました。しかしながら、未だに半数近くのクルマが法令を違反している状況です（※）。

※道路交通法第38条では「横断歩道等における歩行者等の優先」が規定され、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合には一時停止をし、その進行を妨げてはいけなくなっています。

都道府県別にみると、長野県が87.0%で9年連続のトップ、それに次ぐのが80.9%の石川県。このトップ2県は昨年と同じです。
最下位は富山の31.6%で、前年から18.4ポイントも低下しました。
因みに前年の最下位は新潟県（23.2%）でしたが、今年は49.0%と大幅にアップしました。

本来すべてのドライバーが遵守すべきルールではありますが、歩行者も横断歩道を渡る際はドライバーにその意思を伝えることも重要になります。
その方法には、手を挙げる以外に「目で合図する」、「顔や身体を向ける」などがあります。
横断歩道を手を挙げて渡ることを励行している子どもたちに準じ、ドライバーと歩行者の間での一寸したコミュニケーションを図ることで、この状況は更に改善されるのではないのでしょうか。

都道府県別の状況など当調査結果の発表内容は、以下 URL よりご覧になれます。

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/library/survey-report/2024-crosswalk>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えておりません。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信
2. SNS でのコメント、返信

ツイッター <https://twitter.com/jidousyakyoku>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>